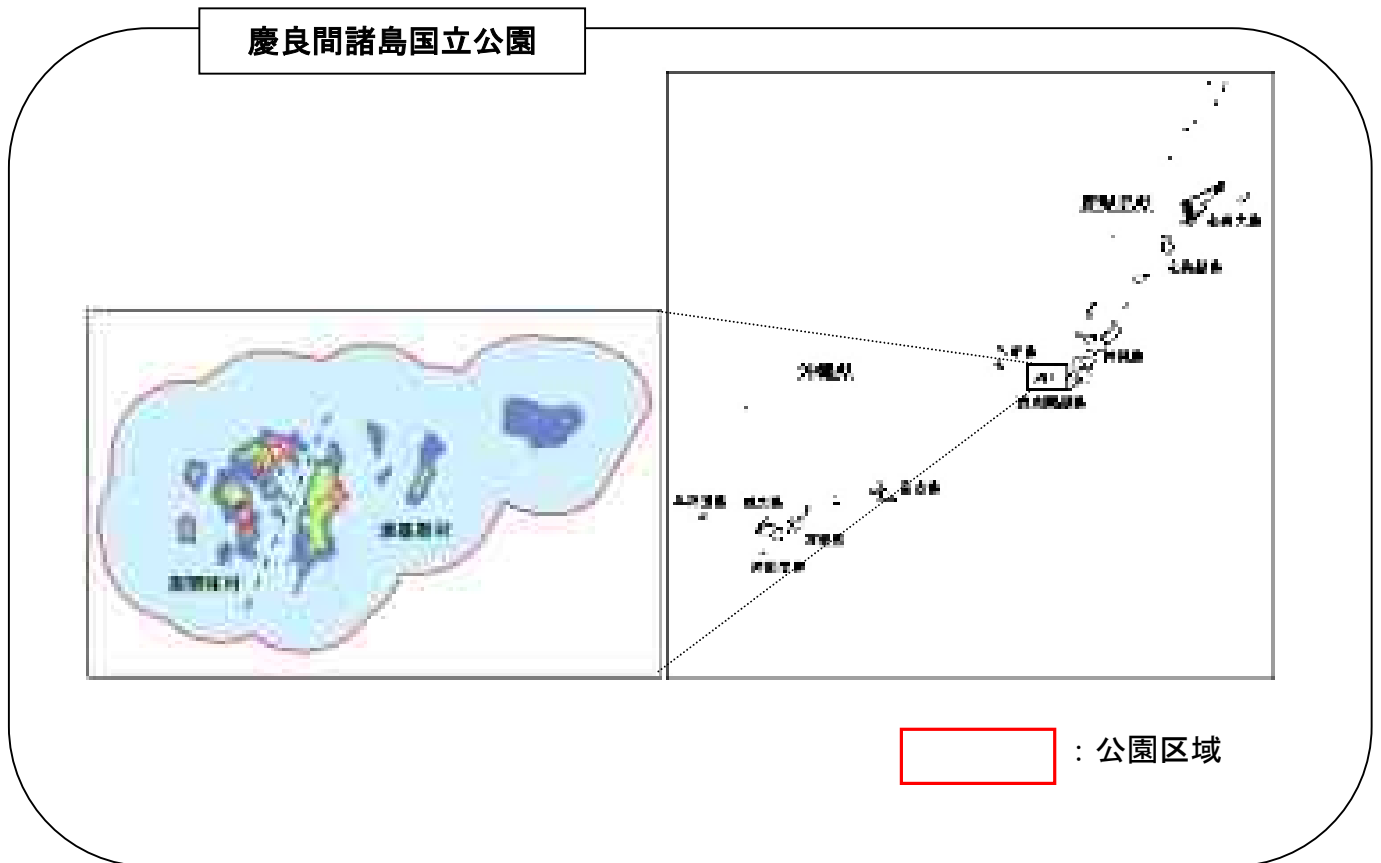


# 慶良間諸島国立公園の指定案の概要

## 1. 背景

慶良間諸島地域は、島々と数多くの岩礁からなる島しょ群で、沖縄随一の多島海景観美を呈することから、優れた海中景観や亜熱帯植物景観を有する区域と併せて、昭和 53 年 12 月 9 日に沖縄海岸国定公園に編入されました。

その後、本地域の多島海景観だけでなく、透明度の高い優れた海域景観を有すること、サンゴ礁に多様なサンゴが高密度に生息することや、ザトウクジラの繁殖海域であることなど、本地域が沿岸から海域にかけて多様な生態系を有することが高く評価されました（国立・国定公園総点検事業 平成 22 年 10 月公表）。このような評価を受けて、慶良間諸島及びその周辺海域について検討した結果、我が国を代表する傑出した景観を有する地域として、沖縄海岸国定公園・慶良間地域を削除し、新たに慶良間諸島国立公園を指定するものです。



## 2. 指定理由・公園計画の基本方針等

- 慶良間諸島は、次の風景形式の中で、我が国を代表する傑出した自然の風景を有する地域であるため、国立公園に指定するものです。また、景観要素と本国立公園の特徴を簡潔に表したテーマは次のとおりです。

風景形式 : サンゴ礁生態系を中心としたクジラの繁殖海域、透明度の高い海域、多島海と砂浜の景観等の多様な海域景観

主な景観要素 : 海食地形、海食崖、砂浜、岩礁、多島海、サンゴ礁、鯨類の繁殖海域、透明度が高い海域等

テーマ : 美ら海慶良間ーサンゴ礁とクジラの海ー

- 公園計画については、多様な海域景観の保全を図り、適正な利用を推進するため保護規制計画、保護施設計画及び利用施設計画を設定します。また、地域のエコツアーリズムの取組等と連携し、地域の活性化に結びつく利用を進めます。

### 3. 公園区域

- サンゴ礁生態系を中心としたクジラの繁殖海域、透明度の高い海域、多島海と砂浜の景観等の多様な海域景観に加え、渡嘉敷島、座間味島、阿嘉島、慶留間島等の島々及びその海岸から沖合7kmの範囲を公園区域とします。

### 4. 保護規制計画

- サンゴ礁が高密度に見られる水深30m以浅の海域を海域公園地区とし、優れた海中景観を重点的に保護します。また、陸域については、沖縄海岸国定公園の保護規制計画をそのまま踏襲します。

### 5. 保護施設計画

#### (1) 自然再生施設

- オニヒトデによる食害等からサンゴ礁を守るため、渡嘉敷村、座間味村に自然再生施設を計画します。

### 6. 利用施設計画

利用者が多様な海域景観を堪能するとともに、本地域に特徴的な亜熱帯の動植物等にふれあうことができるよう次の利用施設を計画します。

#### (1) 単独施設

- 沖縄県渡嘉敷村において、園地（3箇所）、展望施設（1箇所）、博物展示施設（1箇所）を、沖縄県座間味村において、園地（4箇所）、展望施設（5箇所）、野営場（1箇所）、博物展示施設（1箇所）を計画します。

#### (2) 道路

- 沖縄県渡嘉敷村及び座間味村において、歩道（各2路線ずつ）を計画します。

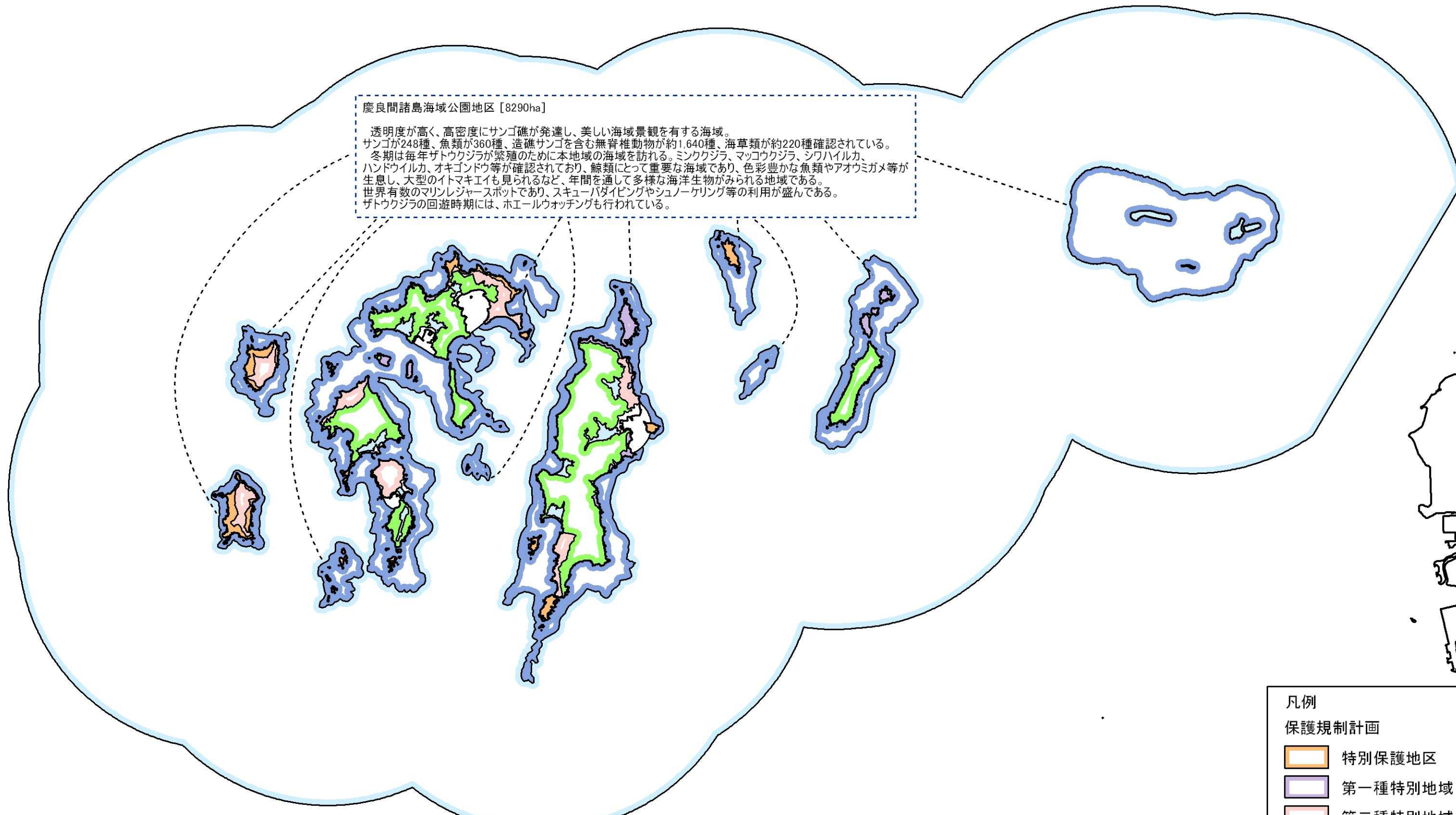
#### (参考：公園面積)

・陸域	3,520 ha
特別保護地区	305 ha
第1種特別地域	180 ha
第2種特別地域	554 ha
第3種特別地域	2,228 ha
普通地域（陸域）	253 ha
・海域	90,475 ha
海域公園地区	8,290 ha
普通地域（海域）	82,185 ha

# 慶良間諸島国立公園区域 公園計画図

慶良間諸島海域公園地区 [8290ha]

透明度が高く、高密度にサンゴ礁が発達し、美しい海域景観を有する海域。  
 サンゴが248種、魚類が360種、造礁サンゴを含む無脊椎動物が約1,640種、海草類が約220種確認されている。  
 冬期は毎年ザトウクジラが繁殖のために本地域の海域を訪れる。ミンククジラ、マッコウクジラ、シロハイルカ、ハンドウイルカ、オキゴンドウ等が確認されており、鯨類にとって重要な海域であり、色彩豊かな魚類やアオウミガメ等が生息し、大型のイトマキエイも見られるなど、年間を通して多様な海洋生物がみられる地域である。  
 世界有数のマリンスポットであり、スキューバダイビングやシュノーケリング等の利用が盛んである。  
 ザトウクジラの回遊時期には、ホエールウォッチングも行われている。



- 凡例
- 保護規制計画
- 特別保護地区
  - 第一種特別地域
  - 第二種特別地域
  - 第三種特別地域
  - 普通地域
  - 海域公園地区

図中の公園区域及び公園計画はすべて新規指定である

# 慶良間諸島国立公園区域 公園計画図(拡大図)



座間味島北部、男岩、北平瀬、シナザチの崎 [59ha]  
数多くの岩礁等が存在しており雄大な景観。  
アジサシ類の繁殖地。周辺海域は透明度が高く豊富なサンゴ礁が広がっている。

座間味、嘉比島、安慶名敷島、伊積加積島、慶留間島 [38ha]  
オキナワハイネズ群落などの特徴的な植生。  
近海は慶良間地域で最大級のサンゴ礁が発達。

久場島、屋嘉比島地区 [142ha]  
特別保護地区にとり囲まれた地区。  
砂浜はウミガメの産卵場となっている。  
屋嘉比島には国指定天然記念物のケラマジカが生息。

座間味地区、嘉比島、安慶名敷島、安室島、[494ha]  
内陸部は険しい山地地形で変化に富んでいる。  
自然環境と畑や果樹等の農林業がおりなす景観がみられる。

中島・ハテ島 [31ha]  
近海はサンゴ礁が発達しており、  
透明度が高く多様な海域景観。

儀志布島、渡嘉敷島北部 [82ha]  
近海はサンゴ礁が発達しており、  
透明度が高く多様な海域景観。

黒島、城島 [39ha]  
風衝地植生が発達し景観は雄大。  
アジサシ類の繁殖地。

座間味地区 [115ha]  
風衝地植生が発達し  
多様な海域景観。  
丘陵部はリュウキュウマツの  
二次林が主体。

渡嘉敷地区 [63ha]  
リュウキュウマツの二次林が優占し、  
谷あいにはスダジイ林が広がる。

前島地区 [166ha]  
植生はリュウキュウマツの  
二次林が主体をなしている。

阿嘉地区 [72ha]  
亜熱帯に特徴的な植生がみられる。  
国指定天然記念物のケラマジカが生息。

渡嘉敷島東部 [29ha]  
オキナワハイネズ群落などの特徴的な植生。

阿嘉地区 [274ha]  
北浜の周辺では砂浜と透明度の  
高い青い海の景観がみられる。  
自然環境と畑等の農林業が  
おりなす景観がみられる。

慶留間島地区 [94ha]  
リュウキュウマツの二次林が主体、  
一部でタブノキやスダジイが。  
国指定天然記念物の  
ケラマジカが生息。

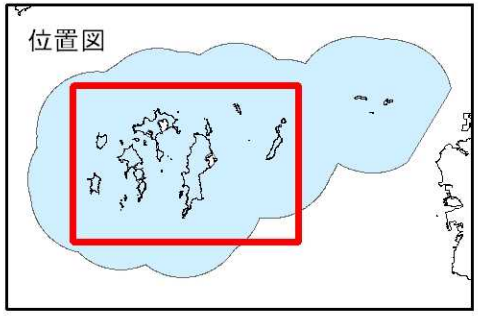
渡嘉敷地区 [1223ha]  
内陸部はリュウキュウマツの二次林とスダジイ林が広がる。  
海岸線沿いにはヒロウ林、矮性マツ林等がみられる。

外地島地区 [71ha]  
アダン群落为主体をなしている。  
国指定天然記念物のケラマジカが  
多く生息。

阿波連地区 [68ha]  
リュウキュウマツ、オキナワシャリンバイの  
風衝林が主体をなしている。

名瀬、佐久原の鼻、モカラク島、奥武島、久場島、屋嘉比島 [169ha]  
砂浜はウミガメの産卵場となっている。  
屋嘉比島はケラマジカが生息しており、国指定天然記念物に指定されている。  
カラスバト等の希少な鳥類の生息も確認されている。  
周辺海域は透明度が高く豊富なサンゴ礁が広がっている。

離島、ウン島 [38ha]  
アジサシ類の繁殖地。  
周辺海域は透明度が高く豊富なサンゴ礁が広がる。



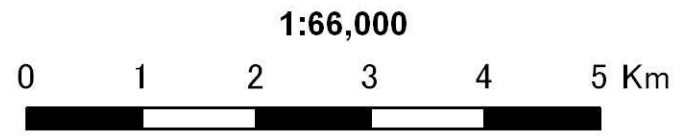
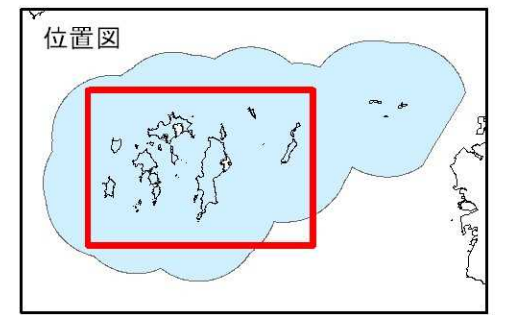
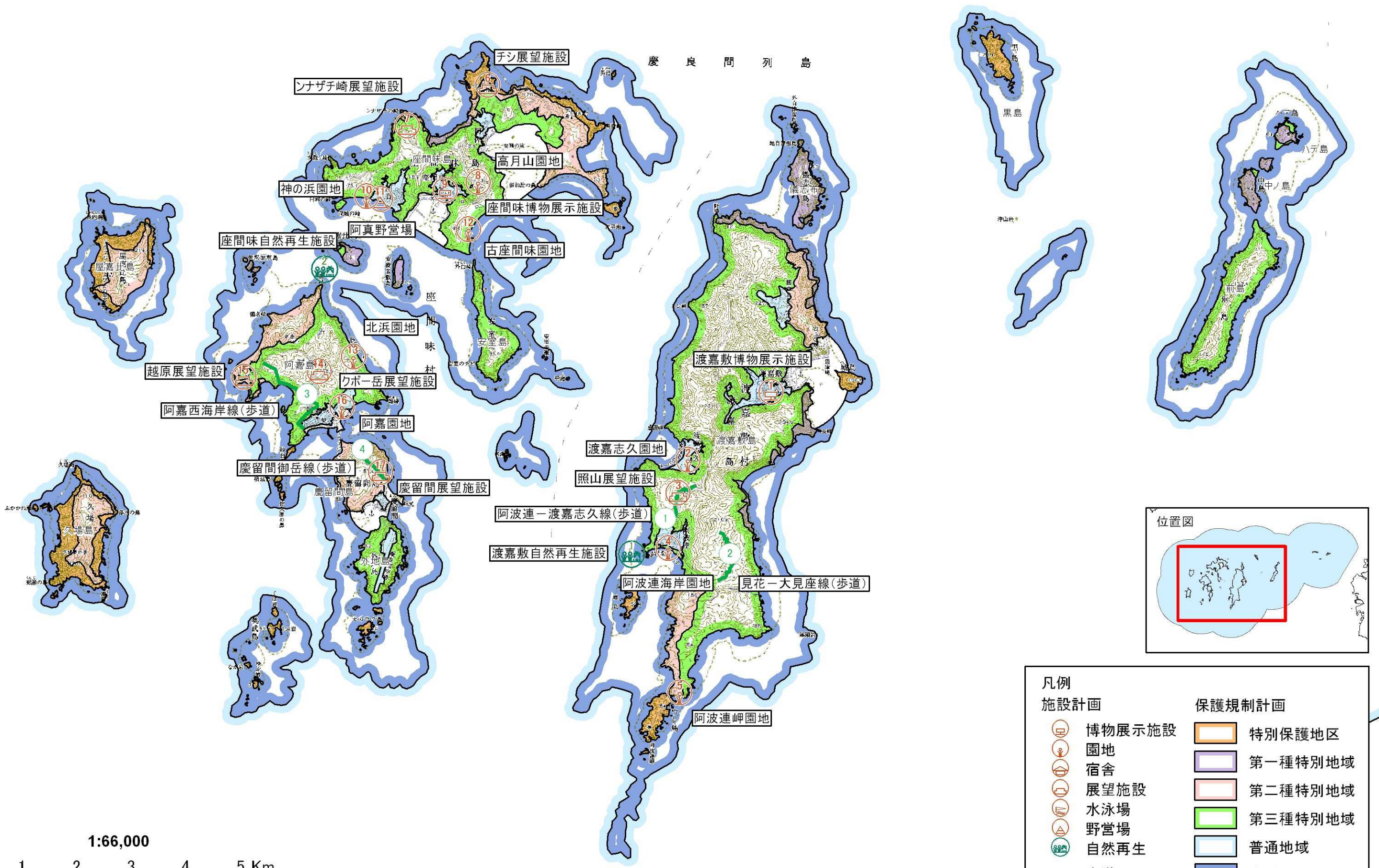
- 凡例  
保護規制計画
- 特別保護地区
  - 第一種特別地域
  - 第二種特別地域
  - 第三種特別地域
  - 普通地域
  - 海域公園地区

1:66,000



図中の公園区域及び公園計画はすべて新規指定である

# 慶良間諸島国立公園区域 施設計画図



凡例	
<b>施設計画</b>	<b>保護規制計画</b>
博物展示施設	特別保護地区
園地	第一種特別地域
宿舎	第二種特別地域
展望施設	第三種特別地域
水泳場	普通地域
野営場	海域公園地区
自然再生	
歩道	

図中の利用施設計画はすべて新規指定である

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分1地勢図、5万分1地形図及び2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平25情保、第192号)」